

**【別紙】連携を進める上での課題と取組内容**

医療機関名	課題・取組
公立羽咋病院	<p>&lt;課題&gt; 地域連携室の裁量権が各病院で異なる。転院依頼、受入時の医師間の連絡。</p> <p>&lt;取組&gt; 情報伝達の誤りを防ぐため、FAXに患者状況を記載・送信し、電話連絡している。院内医師への電話取り次ぎ。</p>
町立宝達志水病院	<p>病床数の全体的な増減はないが、回復期病床では地域包括ケア病床を増床する。</p>
加藤病院	<p>&lt;取組&gt; 近隣病院や施設と連携して患者の受け入れをしている。</p>
町立富来病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の中核病院主導のもと各病院が担う役割を明確にしてほしい。</li> <li>・機能転換では大幅な収益減にならないことも重要だと考えられる。</li> </ul>
国立病院機構七尾病院	<p>&lt;課題&gt; 結核病棟の運営が厳しく結核病棟を廃止し、結核モデル病床5床の運営としたい。結核モデル病床5床の指定を受ければ結核医療の維持は可能。なお、現状の障害者施設等病棟199床は病床稼働率95%以上であるためモデル病床を含んでの運営は困難であるため、199床とは別にモデル病床5床の指定が必要。</p> <p>&lt;取組&gt; 急性期病院から在宅復帰に向けた患者の受け入れを実施中。</p>
公立能登総合病院	<p>&lt;課題&gt; 連携の必要性は認識しているが、他の医療機関からの患者の紹介割合が増えない。</p> <p>&lt;取組&gt; 能登中部医療圏の基幹的、中核的な医療機関として、石川県医療計画を踏まえ、2025年に能登中部医療圏で不足すると予想されている回復期の病床数を増やす取組を計画しており、能登中部医療圏内や能登北部医療圏からの様々な受入に対応できるよう取組を進めている。</p>
恵寿総合病院	<p>&lt;紹介患者の受け入れ増加の反面、診察待ち時間も増加&gt;</p> <p>紹介患者受付の優先対応。逆紹介も推奨している。</p> <p>&lt;手術受け入れの強化と医師の負担軽減&gt;</p> <p>タスクシフト、ITの積極的活用、人員確保、逆紹介の推進</p>
円山病院	<p>3-1 軽症・中等症（肺炎・心不全・外傷等）当院の治療可能範囲を超えている場合の後方支援病院との更なる連携が必要</p> <p>4, 6 当院後方支援病院からの受け入れ。更に長期になる場合、介護との連携が必要</p> <p>4 医療は行うがリハビリは行っていない。他施設との連携が必要</p>
北村病院	<p>地域の基幹病院との連携が必要</p>
市立輪島病院	<p><b>【課題】</b></p> <p>今後は、医療圏内で急性期機能の中でも「高度・重症者の受け入れ」するA病院と、「軽症・中等症の受け入れ」をするB病院と役割分化を進める方針とあったが、能登北部圏域においては、自治体間の地理的な問題から役割を分化することが困難</p> <p><b>【取組内容】</b></p> <p>自治体間の調整→病院間の調整（医師の確保を含む。）→市民等への周知・理解→救急搬送体制の調整</p>
公立穴水総合病院	<p>&lt;課題&gt; 連携強化、医療情報の共有など</p> <p>&lt;取組&gt; これまで通り病病連携、病診連携、病福連携をしっかりと行い、関係医療機関・施設との関係構築を維持・強化していく。（コロナ禍により中止となっていた各種会議、イベントに積極的に参加していく、また、奥能登のほか能登中部医療圏や石川中央医療圏とも連携強化を図っていく。）</p>
公立宇出津総合病院	<p>連携を進めたい病院との距離的問題、診療科のすみ分けの問題等</p>
珠洲市総合病院	<p>&lt;課題&gt; 連携の必要性は認識しているが、他病院との協議の機会がない。</p> <p>&lt;取組&gt; 石川県が主体となり、能登北部構想区域の自治体病院がそれぞれの役割を確認する協議の場を設ける。</p>